

令和7年度 学校自己評価システムシート（県立日高高等学校）

目指す学校像	地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校
--------	---------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的生活習慣（SNS等との付き合い方を含む）を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域との連携を一層深め、開かれた学校づくりを推進する
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者学校関係者	5名
生徒	2名
事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価		年 度 目 標		年 度 評 価 (1 月 1 6 日 現 在)		
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	
1	<p>【現状】授業研究や授業改善を行い、86%の生徒が授業に満足している。基礎力診断テストを活用し、生徒の実態に即した授業を展開することにより、92%の生徒が「授業がわかる」と回答。</p> <p>【課題】タブレットを活用した授業の工夫と改善。引き続き、基礎学力の向上、探究型学習の推進、観点別評価の完成、資格取得に対する意識改善が必要。</p>	<p>授業の満足度85%以上を維持すること等を通じて、学習意欲を高め基礎学力を向上させる。</p>	<p>①教員相互の授業観察や研修会を通じて、教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。 ②年2回の学校評価アンケート（6月、12月）を実施し、経年変化の調査を継続する。 ③自習室の開室・利用促進、朝学習、一人一台端末（1学年）、学習サポーター、日本語支援員、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学習意欲を育成する。 ④基礎力診断テストを活用し、個々の学習到達度を把握し、個別最適な学習指導を充実させる。 ⑤探究学習に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。</p>	<p>①授業公開や研修会を実施できたか。 ②アンケートの結果、「授業がわかる」、「授業に満足」と回答した生徒85%以上。保護者の満足度95%以上。 ③自習室・朝学習の実施状況。一人一台端末・学習サポーター・新聞を活用できたか。 ④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力が伸長したか。 ⑤探究型学習に積極的に取り組む生徒の割合が増加したか。</p>	<p>①小中高と連携した授業公開期間や年次研修等の研究授業で相互の授業を参観・協議し、授業力の向上に繋がった。 ②「授業がわかる」92%、「授業に満足」84%、「保護者の満足度」90%と高い数値を維持しているが、わずかに指標に届かなかった。 ③学習サポーター、日本語支援員を活用し、学習意欲や学力向上に繋がった。 ④基礎力診断テストの伸長度を計測した結果、確実な基礎学力の向上が見られた。 ⑤「授業に意欲的・積極的に取り組んでいる」と回答した生徒は91%であった。</p>	<p>B</p> <p>【課題】引き続き、基礎学力の向上、探究型学習の推進、観点別評価の精度向上、資格取得に対する意識改善が必要。授業満足度の一層の向上に向けての工夫。 【改善策】委員会等で、学力の一層の向上や、探究型学習の研究・構築を推進。放課後補習や学習室を活用。タブレットを活用した授業の工夫と推進。小中学校と連携した授業公開の推進による授業力向上。</p>
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境になりつつあり、挨拶のできる生徒が増加した。多くの社会貢献活動をとおして、本校の地域への貢献度や存在感も高まっている。</p> <p>【課題】基礎的生活習慣の確立に向け、引き続き組織的・継続的に指導をする必要がある。SNS等との正しい付き合い方を徹底する。また、地域の期待に応え、社会に活躍できる生徒を育てるため、学校行事・社会貢献活動に積極的に参画し、自己有用感を持たせることが望まれる。</p>	<p>基本的生活習慣を確立し、規律ある態度を身につけさせる。</p> <p>体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を育成する。</p>	<p>①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。 ②TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。 ③SNSやICTの正しい理解に向けた指導を徹底し、生徒を被害者にも加害者にもさせないよう、トラブルの発生を防止する。</p> <p>①校外学習（5月）、体育祭（6月）、文化祭（9月）、生徒会立会演説会（10月）、強歩大会（11月）等の学校行事等に積極的に取り組み、生徒の自立心と協調性を育成する。 ②地域や地元団体からのボランティア要請に応え、多くの生徒が地域に貢献できるように指導する。地元小中学校等との交流や地域貢献活動を実施する。 ③SCや保健室・関係委員会と職員全体を結び付ける校内支援体制を構築し、特別支援教育や教育相談の充実を図る。</p>	<p>①「ルールを守っている」「整理整頓ができていいる」「挨拶をする」と回答した生徒が90%を超えたか。 ②登校時、全校集会時に実施できたか。 ③SNSやICTに関わる注意喚起を継続的にを行い、トラブルの発生を防止できたか。</p> <p>①「積極的に行事に参加している」と回答した生徒が90%を超えたか。 ②生徒が何らかの社会貢献活動に参加できたか。小中学校等との連携事業に参加できたか。 ③特別支援教育推進委員会・教育相談委員会の定期的な開催に加え、SC等の活用や保健室・関係機関と連携し、効果的な取組ができたか。</p>	<p>①「ルールを守っている」95%、「整理整頓ができていいる」95%、「挨拶をする」89%と高い水準を維持している。 ②組織的に実施。適切に対応している。 ③生徒指導件数12件のうち、SNS関連は1件。</p> <p>①「積極的に行事に参加している」との生徒の回答は89%。 ②日高市と連携し、市内の小中学生を対象に体験講座を実施（日本史探究有志、女子サッカー部、かるた部）。日高市音楽のつどい（軽音楽部、吹奏楽部）、日高市青少年の主張大会への参加等、地域との連携を深めた。 ③専門家の活用と関係機関との連携を図り、支援を充実させた。</p>	<p>A</p> <p>【課題】生徒の状況や社会的変化を踏まえ、常に規定や指導豊富尾をアップデートしていく必要がある。 【改善策】生徒指導部を中心に、生徒指導に関する教職員の共通理解の徹底を図る。</p> <p>【課題】現状以上に積極的に行事等に参加させ、生徒の自己肯定感や自己有用感を高める必要がある。 【改善策】地域と連携して、生徒の参加形態の工夫や意識づけを確実に行う。生徒理解や保護者対応について教職員が理解を深め、生徒が将来社会に出て活躍できるよう、指導の工夫改善を行う。</p>
3	<p>【現状】各学年で工夫した進路計画を組織的に指導し、ほぼ全員の進路を確定することができた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒もいる。生徒の職業観や就労への意識を高める工夫や機会を増やし、個々の生徒の適性に応じた進路指導が求められている。</p>	<p>計画的・組織的な統一した進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。</p>	<p>①3年間を見通した進路計画を策定し指導をして、さらに見直しを図りながら生徒一人一人に適した進路指導を実施する。 ②進路行事・キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③情報発信の工夫により、家庭の理解を深め協力を求める。 ④外部機関や就職支援アドバイザーとの連携により、生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。</p>	<p>①計画的かつ組織的に指導できたか。3年生全員の進路先を決定できたか。 ②充実した進路行事等を実施できたか。 ③保護者宛文書や一斉メールを活用できたか。 ④就職支援アドバイザーを十分に活用できたか。進路相談対応を充実させることができたか。</p>	<p>①計画的かつ組織的に指導の結果、概ね希望に合った進路が内定した。 ②各学年に応じた段階的な行事を計画し実施することで、進路意識の向上に繋がった。 ③情報発信の工夫により、保護者と連携し理解と協力が得られた。 ④就職支援アドバイザーを進路行事において活用する等、活用形態を工夫し、生徒の就職活動を支援した。</p>	<p>A</p> <p>【課題】就職希望が減少し進学志望が増加傾向。幅広い進路選択を視野に本人に適切な進路指導を実現していくことが課題。 【改善策】いかなる進路希望にも対応できるよう、1・2年生から進路を意識して日頃の学校生活を大切にしよう集会等で伝えていく。</p>
4	<p>【現状】一昨年度創立50周年を迎え、地域や保護者の期待が高まっている。地元小中学校との信頼関係を維持している。PTAとの関係も良好である。</p> <p>【課題】学校説明会等を見直し、新しい手段を活用し、志願者の確保に向けた取組を学校全体で行う必要がある。地域・保護者との連携を一層深め、開かれた学校づくりを進めることが重要である。</p>	<p>PTA活動をより充実させるなど保護者との連携を深める。</p> <p>本校の魅力を情報発信し、本校理解を高め、志願者を確保する。</p>	<p>①PTAだよりを年2回発行し、保護者への広報活動に努め、ホームページに掲載する。 ②保護者会等あらゆる機会を通じて一斉配信メールへの登録を呼びかけ、様々な場面で一斉配信メールを活用する。 ③PTA理事会等を通じて保護者同士のネットワークを構築し、PTA活動の充実を図る。</p> <p>①本校公式SNS（Instagram）を開設し積極的に教育活動を公開する。また、「日高高校だより」を学期に1回以上発行する。 ②学校説明会の内容を充実させ、本校の魅力を積極的に発信する。 ③入試倍率1倍超を実現させる。 ④日高市や近隣の学校との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①PTAだよりやホームページを通じて、PTA活動の情報発信ができたか。 ②一斉配信メールを通じた保護者への連絡・配信回数が年間50回を超えたか。 ③効果的なPTA活動を実施できたか。</p> <p>①本校公式SNS（Instagram）を開設し、更新できたか。「日高高校だより」を学期に1回以上発行できたか。 ②今年度より4回実施から3回実施に変更したが、延べ234名の生徒と210名の保護者が参加した。 ③入試倍率1倍超を実現できたか。 ④日高市や近隣の学校との連携し、探究学習等で協力体制を強化できたか。</p>	<p>①PTAだよりは1号発行。第2号を3月に発行予定。活動の様子等をホームページに掲載した。 ②一斉配信メールはこれまでに51回配信。 ③文化祭企画において、役員の意見を取り入れたことにより、満足感の高い取組となった。</p> <p>①本校公式SNS（Instagram）を開設した。「日高高校だより」は各学期に2回発行し、3学期分も発行予定。 ②今年度より4回実施から3回実施に変更したが、延べ234名の生徒と210名の保護者が参加した。 ③少子化や私立無償化の影響か、生徒募集は苦戦している。 ④日高市や埼玉女子短期大学、近隣企業等と連携し探究活動を実施。</p>	<p>B</p> <p>【課題】役員改正により各行事の開催に向けて、PTA活動の継続性が引き続き課題である。 【改善策】PTA活動の情報発信を充実させることで、多くの保護者にPRしていく。</p> <p>【課題】Instagramやホームページの更新頻度の向上が必要。 【改善策】広報活動の充実を図る。日高市や近隣の学校との連携を強化した上で、学校の特色化を図り、志願者の増加とミスマッチの防止に努める。</p>

学校関係者評価	
実施日	令和8年1月27日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

授業の理解度・満足度において高い水準を維持している。生徒と教師との人間関係が良好で、安心・安全な雰囲気の中で授業が展開されていた。ICT機器を活用した授業や探究型学習を推進すれば、授業満足度はさらに向上するようと思われる。

大多数の生徒は基本的生活習慣が身につけているように思われる。教職員の日頃の努力の成果である。体験活動・社会貢献活動等も積極的に行われている。専門家も含めた教育相談も十分に実施されている。また、教室環境が整頓されており、清潔であった。廊下に落ちていた小さなごみを教員が拾う姿が、学校全体に良い影響を与えていると感じる。

就職先・進学先も多種多様で、一人一人の生徒に寄り添い、進路先を決定していただいていると感じる。今後進学希望者が増える傾向にあるので、進学情報等の収集が重要になってくる。

PTAはステークホルダーの中でも重要な存在であるが、順調に協力関係が得られていると感じる。PTAの「負担軽減」と「やりがい」のバランスを考えている点が素晴らしい。SNS（Instagram）は教職員と生徒との協力、協働作業が重要だと思われる。近隣学校との連携や探究活動も積極的に行われている。